

2024年度 一般社団法人三重県薬剤師会 委員会等組織

2024.7.21

委員会	担当役員	委員長	担当理事	委員	業務内容
学術・研修委員会	四副会長及び専務理事	高井委員長	清川乾 中村友喜	<ul style="list-style-type: none"> 各地域薬1名（地域での薬剤師かかりつけ機能強化研修等担当者想定。紀北・紀南、伊勢・鳥羽志摩は、各1名） 病診薬 複数名（地域ブロック単位で1名） 学生実習受入委員会他6委員会 委員長 	<p>【 薬剤師生涯研修・卒後教育及び研究発表に関する事項 】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各委員会等からの研修企画案の調整 ルーティン的な研修会（認知症研修会、薬剤師学術フォーラム）や他委員会に属さない研修会などの開催・運営 日本薬剤師研修センターの事業活動に関する事項 県薬、地域薬主催の研修会の質的向上支援（日薬研修シラバス等の活用） 会員の学術研究の推進支援 研究活動の推進や生涯研修推進のための特別チームの設置と活動 <p>▷ 生涯研修・研究活動推進チーム リーダー：高井副会長 委員：三宅知宏、朝居祐貴、森川祥彦、中村友喜、林雅彦、森章哉、丸山尚樹、村阪敏規、中川裕司、金山達哉、水谷副会長、増田専務理事</p>
学生実習受入委員会	藤本副会長	中村委員長	林木村西井	各地域・病診薬剤師会担当者他	<ul style="list-style-type: none"> 薬学教育モデル・コアカリキュラム（改訂版）を踏まえた薬学生実務実習の受入体制の整備 認定実務実習指導薬剤師育成に関する事項
医療・介護保険委員会	藤本副会長	長島委員長	岩本村阪	各地域薬剤師会担当者1名	<ul style="list-style-type: none"> 医療・介護保険等制度における医療提供施設としての適切な薬局業務の推進や適正な保険請求の推進に関する事項 医療 DX への対応、継続的服薬指導、薬局機能別認定制度等への対応、後発医薬品・バイオ後発品の使用促進、地域フォーミュラリ構築やAMR活動等支援 公的介護保険制度への参画促進
薬局機能推進委員会	水谷副会長	総括 平岡 委員長	岡田 委員長	上村佐久間	<ul style="list-style-type: none"> 各地域薬剤師会（在宅担当者）・病診薬剤師会担当者他（1名） <p>①地域包括ケア体制推進部会</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域包括ケアシステム構築推進に係る業務（在宅医療、麻薬・無菌調剤、小児訪問薬剤管理指導、24時間対応、認知症対策、薬薬連携、多職種連携など）

薬局機能推進委員会	水谷副会長	総括 平岡 委員長	平岡 委員長	赤井 山口	各地域薬剤師会担当者他 (上記とは異なる者1名。ただし、鳥羽志摩、紀北・紀南は上記と兼ねる)	②OTC・健康サポート薬局推進部会 ・健康サポート薬局、セルフメディケーションの推進に係るすべての事業
医療安全対策委員会	伊藤副会長	上荷 委員長		寺田	各地域・病診薬剤師会 担当者他 (紀北・紀南はいずれかで 1名)	・薬局業務等におけるリスク・セイフティマネジメントに関する事項 ・医療安全に係る研修会等の事業 ・薬局プレアボイドの促進
学校薬剤師委員会	藤本副会長 増田専務 理事	郷 委員長		乾 清川	各地域薬剤師会 学薬担当者他1名	・学校環境衛生活動（災害時の避難所衛生対策の検討を含む） ・学校環境衛生検査業務に関する支援 ・くすり教育及び薬物乱用防止対策等に関する事項（OD対策を含む） ・薬剤師を目指す中高生向け啓発活動
会員交流・広報委員会	伊藤副会長	若生 委員長		郷 近藤	津2名。桑名地区、四日市、鈴鹿亀山、松阪地区、伊勢、病診、行政各1名	・会報誌等の企画・編集 ・薬剤師会入会促進策の検討と実践 ・県民への薬剤師職能の広報等に関する事項 ・県民参加の薬草観察会、薬草観察会講師の育成に関する事項等 ・会員の福利厚生と、地域に於ける社会的活動に関する事項等

必要時設置する 委員会等	担当役員	担当理事及び 専門委員等		業務内容
会営薬局運営・ 業務管理	藤本副会長 水谷副会長 増田専務理事			・会営薬局の運営・業務管理に関する事項
薬事情報センタ ー運営業務会議	石橋 会計理事	山本 松本 三木、松田		・薬事情報の収集・分析と提供、DEMへの協力 ・情報システムの整備及び検討 ・スポーツファーマシストの普及啓発
	石橋会計理事	山本 委員長	各地域薬剤師会 行政 各1名 (紀北・紀南兼任)	スポーツファーマシスト部会 ・スポーツファーマシストの養成 ・三重県薬剤師会のアンチ・ドーピング活動 ・国体におけるアンチ・ドーピング対策
災害対策 協議会	増田専務理事 浅井事務局長	○協議会 ・各地域・職域薬剤師会会長 ○幹事会 ・各地域及び教員薬剤師会 各1名 ・病診及び行政薬剤師会 各2名 ・医薬品卸業協会 1名		・災害対策・大規模感染症発生等平時及び緊急時対応に関する事項 ・各地域薬剤師会災害対策担当者との連絡調整に関する事項
調剤事故 対策室	伊藤副会長 増田専務理事	上荷		・調剤過誤・事故対応及び顧問弁護士との折衝に関する事項 ・医療安全対策委員会との連絡調整に関する事項
保険請求問題 検討会	藤本副会長 増田専務理事	国保審査員 社保審査員 介護保険審査員		・調剤報酬等にかかる保険請求の問題検討
キャリアプラン ニング検討会	増田専務理事	小林竜也、岩本卓也、寺田幸司、 八重徹司、岡田圭二、高井靖、 小出哲郎、西井貴由記		・薬局薬剤師の研修等、薬剤師のキャリアンプランニング全般にわたる 検討や企画、事業評価 ・薬剤師確保計画に基づく事業の検討
中高生向け啓発 事業検討会 (新)	水谷副会長	若生美樹、郷幸代、岩本卓也、 藤田征志、米田誠治、増田専務理事		・薬剤師を職業として選択してもらうための中高生向け啓発事業につ いて、県薬・県病薬・大学が連携して、事業全般にわたる検討や企画、 事業評価を実施
褥瘡研修実行 委員会	増田専務理事	相松定子、田中亜弥、西井貴由記、 松田唯、濃野伸子、		・褥瘡研修に関する事項 (病薬委員) 二村昭彦、森川拓、梅山靖基、濱野友貴、今井一輝

研究倫理審査委員会	増田専務理事	外部委員4名＋薬剤師会委員3名 (寺田幸司、武内恵子、増田直樹) 任期2024年10月8日まで	<ul style="list-style-type: none"> 研究倫理審査に関する事項 (外部委員) 村田真理子 (鈴鹿医療科学大)、大井一弥 (鈴鹿医療科学大学)、尾高健太郎 (稲七総合法律事務所)、加藤美智 (一般)
地域薬学ケア専門薬剤師研修調整委員会	増田専務理事	薬局：中村文彦理事、増田専務理事 病院：岩本卓也 有識者：三輪高市 (鈴鹿医療科学大学)	<ul style="list-style-type: none"> 日本医療薬学会が規定する地域薬学ケア専門薬剤師の資格取得のための研修希望者と研修施設のマッチング調整を行う

★必要時設置する上記委員会等につきましては、変更等ある場合は、個々にご相談させていただきます。

参考事項（委員会設置・役員等の考え方）

取扱注意

常設委員会

※1 担当理事は、原則2名体制とした。

学術・研修委員会は2名体制から3名体制に強化し、学生実習受入委員会は引き続き薬局、病院、大学の3名体制とした。

なお、学術・研修委員会は、研修等の全体体制を決める根幹委員会でもあり、日薬が進める薬局薬剤師の対人業務のスキルアップ研修（薬剤師かかりつけ機能強化研修）等の推進を図るため、担当理事に常務理事2名及び生涯研修・研究活動推進チーム参加理事（中村友喜理事）を配置し、委員長も同チームリーダーの高井副会長を配置した。

※2 学術・研修委員会の委員長、担当理事、委員などの構成については、これまで、県薬主催の全ての研修日程等を調整する委員会でもあり、常設委員会の全委員長を本委員会委員長に位置づけるなど、他委員会とは異なる体制となっていたが、その体制を整理し、他委員会の構成に近いものとした。

- ・ 担当役員は、従前通り、四副会長、専務理事とする。
- ・ 委員は、7委員会委員長及び各地域薬（一部ブロックでの対応も可とする）、病診薬（なるべく各地域薬委員とペアでの参加が好ましいが、地域ブロックを考慮して選出してもよい）からの推薦者とした。
- ・ 委員の業務については、これまで、他委員会に属さない県薬主催研修会の開催運営要員の意味合いが強かったが、コロナ以降WEB開催が多くなりその業務ウエイトが減少した。一方、日薬が進める薬局薬剤師の対人業務のスキルアップ研修（薬剤師かかりつけ機能強化研修）等については、各地域での重点的な研修開催が求められており、今後、さらに多くの取り組み（薬剤レビュー研修など）も必要になってくることが予想されるため、地域での研修企画運営担当者の委員への就任を求めることとした。併せて、地域での研修会での技術的支援を行う病院薬剤師の参加を求めることとした。

※3 研究活動推進チームと生涯研修支援チームについては、三重県病院薬剤師会の本会への合流（R3年10月）にともない研修事業や研修支援の在り方等の調整・検討を生涯研修支援チームが担ってきたが、一定、その役割が終了したため、両チームを生涯研修・研究活動推進チームとして一本化し、メンバーは病院薬剤師、薬局薬剤師、本会役員を配置した。

- ※4 各委員長は、負担軽減のため、なるべく担当理事から外した。
(唯一、郷理事は、薬草観察会、薬草マイスター研修などの運営に必須のため、会員交流・広報委員会の理事として配置)
- ※5 常設委員会の担当役員は、学術研修（全員）と学校薬剤師（藤本、増田）を除き、原則1名とした。
- ※6 常設委員会の担当理事について、県病薬関係理事は、その本来職能に関係の深い学術・研修、学生実習、医療介護保険、薬局機能（地域包括ケア体制推進部会）委員会へ配置した。

常設以外の委員会等

- ※7 常設以外の委員会等は、以下のとおり配置した。
 - ・会営薬局運営・業務管理については、会営薬局の今後の在り方や運営方法など多義にわたる検討が必要なことから、担当役員3名体制を維持する。（薬局経営者の役員を主体）
 - ・薬事情報センター運營業務会議のスポーツファーマシスト部会は、国体等の対応を含めた部会の新たな立ち上げのため、担当役員2名体制としてきたが、運営が軌道に乗ったため、1名体制とする。（石橋、増田 → 石橋）
 - ・キャリアプランニング検討会、中高生向け啓発事業検討会は、当て職の専門委員の交代に伴う委員の変更を行った。
研究倫理審査委員会は、現在の委員の任期が10月8日までとなっているが、以下の通りとする。
 - ・神保委員（県薬監事）は6/23付けで退任、新たに武内監事となったため、期限内であるが武内委員に交代（神保委員の残任期間の10/8までとする）
 - ・村田委員は、所属変更（三重大→鈴鹿医療科学大）だが継続して委嘱

（参 考） 国保審査員（藤本、寺田、伊藤） 社保審査員（渡辺、水谷、村上） R7年5月31日まで

介護保険審査員（金丸） R8年3月31日まで